



2021年3月期 第2四半期決算説明資料

- 1 2021年3月期 上期決算概要
- 2 2021年3月期 通期業績予想
- 3 新型コロナウイルス感染症拡大による影響(21/3期)
- 4 キャッシュ・フローの状況 及び 配当方針

2020年11月2日

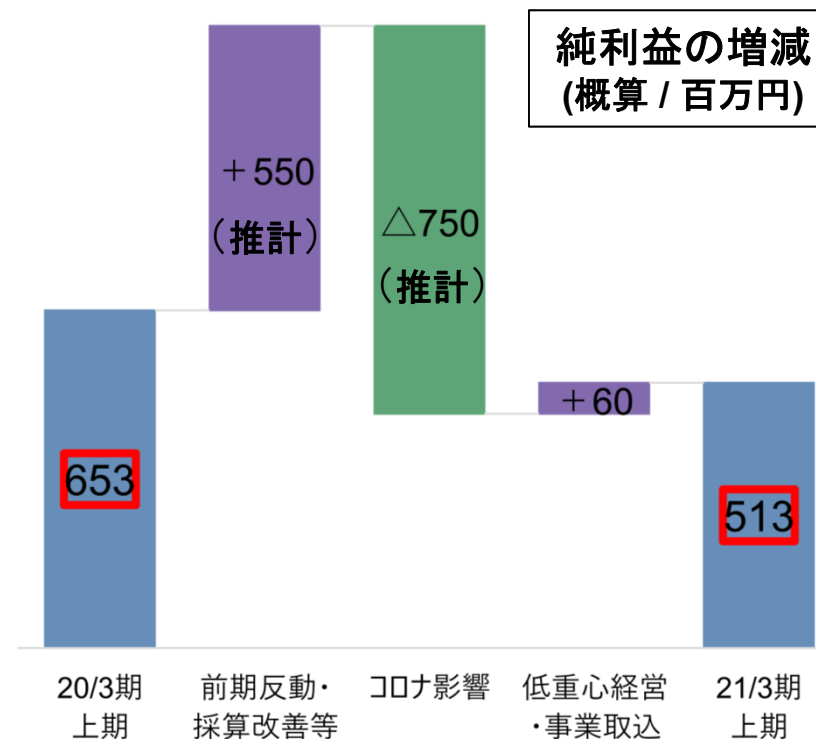
ジャパンフーズ株式会社

(証券コード 2599 東証第1部)

1 2021年3月期 上期決算概要

JUMP++2021
-次のステージへ-

単位:百万円	20/3期 上期実績	21/3期 上期実績	増 減
製造数(千ケース)	24,747	20,583	△4,164
営業利益	915	649	△266
経常利益	957	699	△258
連結純利益	653	513	△140



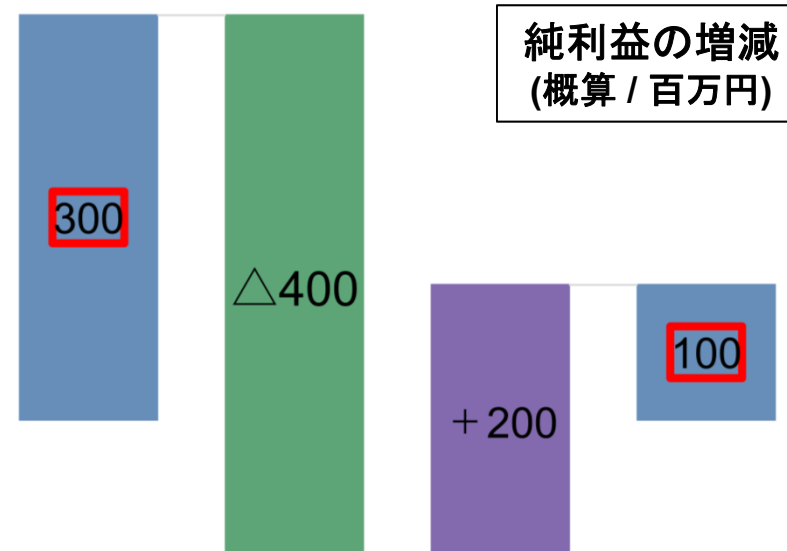
単位:百万円	20/3期 上期実績	21/3期 上期実績	増 減
単体(コア)	613	444	△169
事業取込利益等	40	69	+29
ジャパンフーズ連結	653	513	△140

- 前期反動(天候要因等)・採算改善はあったが、新型コロナウイルス感染症拡大による受注減少で減益
- 原価率改善・固定費削減等の低重心経営に成果あり
また、事業取込利益が改善

2 2021年3月期 通期業績予想

JUMP++2021
-次のステージへ-

単位:百万円	21/3期 7/30公表	21/3期 今回修正	増減
製造数(千ケース)	40,500	37,300	△3,200
営業利益	350	10	△340
経常利益	400	90	△310
連結純利益	300	100	△200



単位:百万円	21/3期 7/30公表	21/3期 今回修正	増減
単体(コア)	235	△15	△250
事業取込利益等	65	115	+50
ジャパンプース連結	300	100	△200

7/30公表 コロナ影響 (今回増加) 低重心経営 (事業取込・新ライン) 今回修正 (11/2)

- 7/30公表時点に比べ、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が増加
連結純利益 100百万円に下方修正
- 低重心経営(固定費削減等)、事業取込利益の改善に加え、新ラインの追加収益貢献を見込む

3 新型コロナウイルス感染症拡大による影響(21/3期)

JUMP++2021
-次のステージへ-

7/30 公表	連結純利益への影響 (単位:百万円)	第1四半期 実績	上期	年間
	新型コロナウイルス感染症拡大による影響	△350	△550	△400
	(受注減少)	(△550)	(△820)	(△820)
	(変動経費の減少)	(+200)	(+270)	(+420)

今回 修正	連結純利益への影響 (単位:百万円)	第1四半期 実績	上期 実績	年間
	新型コロナウイルス感染症拡大による影響	△350	△750	△800
	(受注減少)	(△550)	(△1,170)	(△1,550)
	(変動経費の減少)	(+200)	(+420)	(+750)

■ 製造・販売見通し (国内清涼飲料業界:前期比) (ジャパンフーズ:想定収益比)	7/30 公表	今回修正
	【上期】業界△7% / JF△15%	【上期】業界△8% / JF△25%
	【下期】影響なし	【下期】業界△5% / JF△13%
	【年間】業界△5% / JF△10%	【年間】業界△7% / JF△20%

「積極的な受注活動」「低重心経営(固定費削減等)」を継続し、上記影響の低減を図る

4 キャッシュ・フローの状況 及び 配当方針

JUMP++2021
-次のステージへ-

単位:百万円	20/3期 上期実績	21/3期 上期実績	増 減
実質営業CF (PL由来)	1,713	1,577	△136
BS増減	△220	△143	+77
営業CF	1,493	1,434	△59
投資CF	△490	△2,449	△1,959
フリーCF (連結)	1,003	△1,015	△2,018

中間配当 (11/2決議済)	10円
期末配当予想 (変更なし)	17円
年間配当予想 (変更なし)	27円

【営業CF】新型コロナウイルス感染症拡大による影響下も、堅調に推移

【投資CF】新ライン建設(SOT缶・73億円)は、計画通り順調に進捗(21年1月稼働予定)

【配当方針】堅調な営業CFを背景に、年間配当予想(27円)は変更なし

以 上